



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

# 介護福祉経営士 ニュース KFK News

2021  
**8.31**  
No.86

## CONTENTS

特集 2021年度「介護福祉経営士」  
実践研修開催

多様な視点の議論から  
介護福祉経営士としての  
発想力を磨く

2

●合格者の声

5

●介護福祉経営士全国会議  
2021 開催案内

●第6回「介護福祉のみらい」  
作文コンクール  
開催のご案内

6

●今月の「介護ビジョン」

●KFK INFORMATION

7

●イベント紹介

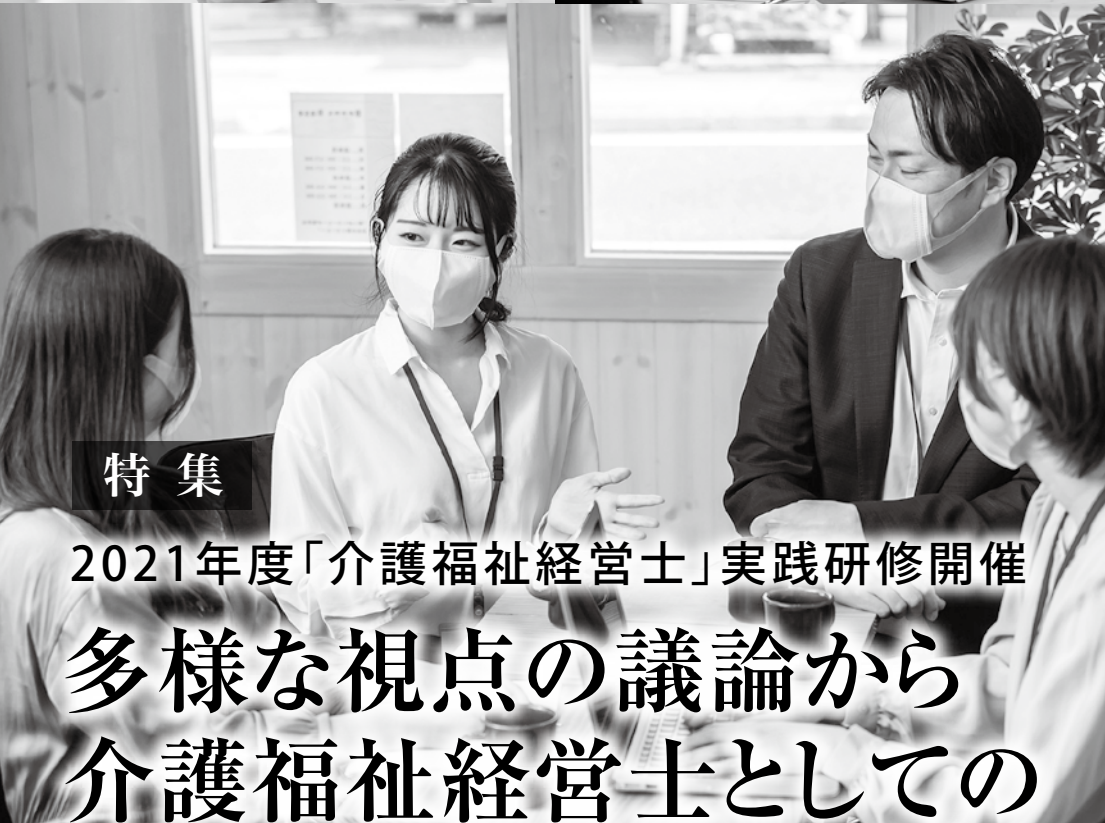
●WEB説明会のご案内

8

### 特集

2021年度「介護福祉経営士」実践研修開催

# 多様な視点の議論から 介護福祉経営士としての 発想力を磨く



一般社団法人  
日本介護福祉経営人材  
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局  
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>  
制作:株式会社日本医療企画  
編集・発行人:林 諄  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号  
S-GATE八丁堀9階

# 多様な視点の議論から 介護福祉経営士としての発想力を磨く

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、7月25日(日)に2021年度「介護福祉経営士」実践研修を開催した。本実践研修は、1級の筆記試験合格後の「介護福祉経営士2級」から「介護福祉経営士1級」への等級変更の要件となっている。本年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みオンラインでの開催となった。本特集では実践研修の様子をレポートする。

## 実際の施設をモデルに BCP策定について学ぶ

今回の実践研修はBCP(Business continuity planning 業務継続計画)をメインテーマとして実施された。

BCPは企業が災害や感染症などによって緊急事態に遭遇した場合において、事業の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画を指す。

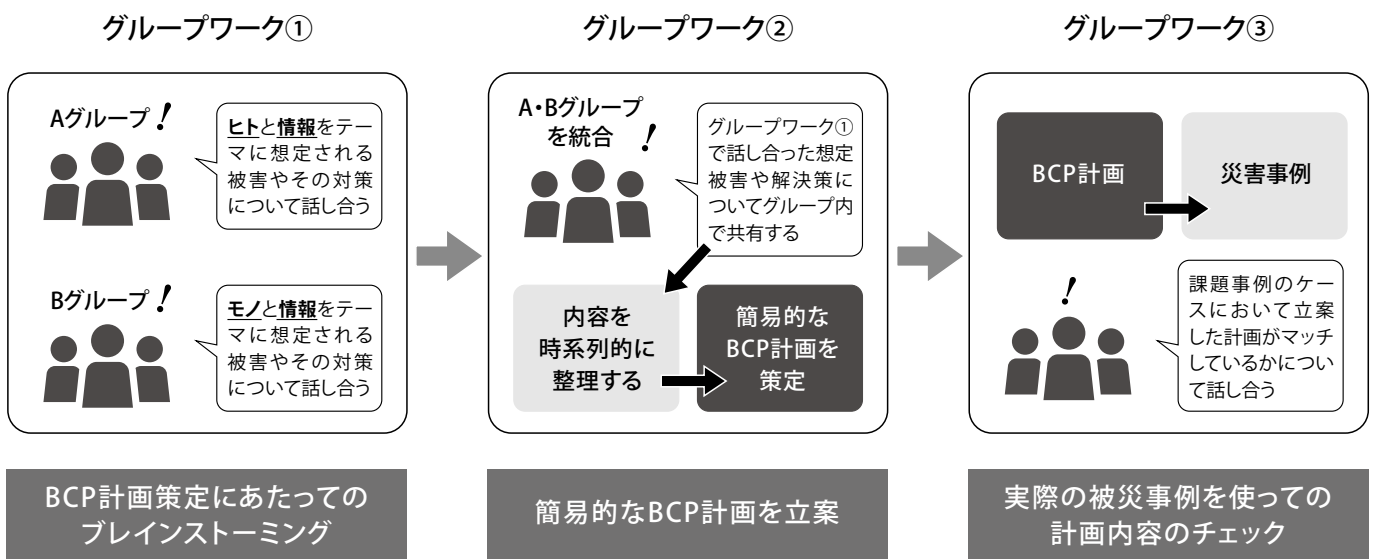
介護業界においても近年頻発する自然災害や、コロナ禍の影響を鑑み、令和3年度介護報酬改定により「業務継続計画」の策定が義務付けられている(3年間の経過措置あり)。

このような背景からBCP計画への取り組みが今後の介護経営において重要な要素となるとともに、介護福祉経営士が取り組むべき課題として、実践研修のテーマに設定された。

研修ではまず宮島渡氏(日本介護福祉経営人材教育協会北信越支部長、日本社会事業大学専門職大学院特任教授)によるBCP計画に関する講義が行われた。

講義の中で宮島氏は近年の介護施設にかかわる災害事例を紹介したうえで、介護事業におけるリスクが多様化している点を指摘。また、サービスの種別によっては利用者の安否確認や情報共有が難しい場合があること、地域によって地理的な要件や地域住民同士のつながりの濃淡などに差が生じると述べ、地域別・サービス別に課題を洗い出すことが重要であると語った。その後はBCP立案にあたってのポイントについての解説が行われた。

図 2021年実践研修グループワークの流れ



続いての講義では社会福祉法人中標津朋友会 特別養護老人ホーム中標津りんどう園施設長 犬伏善則氏を講師に迎え、実際の施設をモデルとした事例紹介が行われた。

犬伏氏は想定しうる災害リスクについて自園のある中標津町のハザードマップなどを用いて解説。非常時を想定して行った近隣に居住する職員とその家族の健康状態を記載したリストの作成プロセスや連絡用アプリの利用などの準備状況、緊急時の施設の方針や事業の優先度などについて紹介した。また、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震にともなう大規模停電において、自家発電機の確保に苦慮した経験やSNSでのデマの発生による影響などについても触れ、災害後の反省(振り返り)を次にしっかりとつなげることが重要であると語った。

## 介護福祉経営士としてBCP計画と向き合う

午後の研修はグループワークを中心に実施された(図)。1回目のグループワークでは地震災害を想定した場合に、どのような被害が想定され、それについてどのような対策を講じるべきかについてディスカッションが行われた。ディスカッションは「ヒト、モノ、情報」をテーマに行われ、非常時の人員不足に対応するために職員の参集基準を設けることや、電気・ガスといったライフラインの途絶に対応するための備蓄計画、情報入手手段の検討などのさまざまな意見を元にBCP計画の下地づくりが行われた。

続いて2回目のグループワークでは1回目のグループ

ワークで想定された被害とそれに対する対応策を「ヒト、モノ、情報」の 카테고리ごとにわけ、時系列を整理。あらかじめ設定した基本方針や計画の目的などと組み合わせることで簡易のBCP計画を組み上げた。

3回目のグループワークでは、実際に震災が起きたと仮定し、事例と作成したBCP計画の内容との照らし合わせを行った。

事例は冬季の深夜に震災が発生し、施設内に残っているのは夜勤職員のみ、停電断水などが発生し一部の暖房器具が使用できない状況になっているといった設定を用意(表)。

作成したBCP計画では季節や地理的な要件を想定していなかったという意見や、職員の参集要件などの想定していた対策が活かそうぞうだといった意見が交わされ、活発に事例検討が行われた。

その後のグループごとのまとめ発表では、「自分の居住する地域でないと思像の及ばない範囲があった」「想定した被害などをヒト、モノ、情報にあてはめるのに苦労した」といった感想があったほか、「今回の研修のようにさまざまな職種、立場のメンバーが参加し、多様な目線をとりに入れることで計画の質を上げられると感じた」といった意見が述べられた。

今回はオンライン研修ということもあり、さまざまな地域から、多様な職種・立場の介護福祉経営士が集まり意見交換が行われた。

研修で得られた視点や気づきを介護福祉経営士の活動に活かすとともに、所属する企業・団体の事業経営に役立てることができる充実した研修となった。

表 グループワーク③用 災害事例の内容とグループワークでの意見(抜粋)

状況項目	概要
発生災害	地震:震度5強(マグニチュード5.5)
発生時間	2月10日(日)AM2:30 →冬季という時期的な点や、災害発生の時間帯について想定外であったとの意見があった。
出勤率	10%(夜勤職員のみ) →発災直後に動ける人員が予想以上に少なく、職員の参集基準の重要性を感じたとの意見があった。
ライフライン	停電・断水・ガスは供給停止中 →想定範囲内に収まっていたという意見が多かった。
人的被害	地震に驚いてベッドから降りようとして転倒した利用者2名(骨折はしていない模様)、職員家族に負傷者がいるとの情報あり →負傷者の対応について課題を感じたとの意見があったほか、医療関係者の視点などを交えて議論が行われた。
建物被害	天井の一部剥落、調理室の食器類が一部落下破損、談話室のテレビと書棚が横転、停電により施設内の電気系暖房機能が停止中 →暖房の存在については盲点であったとの意見があった。
備蓄在庫	食料は非常用の飲料水と食料が約3日分、経管栄養剤、高カロリー食などの特殊な食品については3日分の分量があるが、停電により保管状況の確保が課題。看護衛生用品については、各品目ともに3日分、おむつ5日分。 →備蓄量は何日分が適切かという点について議論が行われた。
道路状況	橋の一部が破損したとの情報があり、川向こうからの移動には大幅な遠回りが必要。除雪はおこなわれた直後のため、車での移動は可能であるが、積雪が続いているため除雪作業が遅れる場合は移動が困難になる可能性がある。 →橋などの交通インフラの損傷を想定した参集基準の必要性について指摘があったほか、積雪の影響については想定していなかったとの意見があった。
通信	携帯電話は通信規制によりつながりにくい、携帯メールはかろうじて使用できる。インターネット・固定電話は停電により使用不可。 →携帯メールなどが使えるなど、想定していた状況よりも通信環境がよかった点に注目が集まったほか、連絡手段の内容について議論が行われた。

## 実践研修を終えて

実践研修講師・ファシリテーター

### 宮島 渡氏

(日本介護福祉経営人材教育協会北信越支部長、日本社会事業大学専門職大学院特任教授)



介護業界でBCPという言葉が見られるようになったのは2011年の東日本大震災後からでしょう。ただ、その当時はBCPについてはあまり注目はされていませんでした。しかし近年、頻発する自然災害やコロナ禍の影響により、そうした災害はどこにでも誰にでも起こり得るという認識が広まった結果、BCPの経営的な重要性が再認識されています。

BCPについては介護業界だけでなく一般企業においても重要です。しかし、介護業界においては、介護業界独自の課題に対して柔軟に取り組む発想も必要だと思っています。例えば入所系のサービスの場合は命にかかわる要素が多く含まれますし、施設自体が住居となっているわけですから、支援の内容はしっかりと考えておかなければなりません。

今回3回目のグループワークで災害事例を使い、作成したBCP計画の検証を行ったのはそういった介護独自の課題に

気づいてほしいという狙いもありました。

BCPは作って終わりではなく、それが実際に動くかどうかも重要です。例えばハザードマップを眺めるのに加えて、雨が降っている日に周囲を実際に歩いてみるなど、実際に自分の目で確認しながらイメージを創っていくことも重要でしょう。行動基準をしっかりと決めておき、安否確認が終わったら次はこう動くといった形で段階的に動くことを想定した計画作りも必要です。

今回、グループワークでは若干議論の軸が発災直後の被害の想定にかたよる傾向はあったものの、医師の参加者の方から医師が災害の際にどんな視点で動いているのかといった内容を聞くことができたりと、リアリティのある議論ができたことは大変興味深く、よかったと思います。

## MESSAGE

## 実践研修参加者の声

### 前川 一成氏

(金融機関勤務、医療経営士1級)



現在は医療機関や介護事業者向けに融資の相談や、事業承継に関する相続対策など幅広い範囲でのサポートを行う部署に所属しています。介護福祉経営士に興味を持ったのは現在の部署に所属する前に病院向けのコンサルティング会社に出向していた際、医療・介護にかかわるようになり、知識を取得したいと考えたことがきっかけです。1級資格を目指したのはより多くの医療・介護の知識を得ることでよりお客様のためになるのではないかと考えたためです。

今回のテーマであったBCPは報酬改定の内容に含まれていることもあり、タイムリーな話題であったと思います。具体的に計画の内容を見たり、作成に携わるといった経験はな

かったのでとても新鮮な体験でした。

今回の研修でありがたかったのは色々な立場、役職、経験のある方々と一緒にグループワークを行うことができた点です。自分では気づけない観点で議論ができたことはとても良い経験になりました。

さまざまな視点を持った方々が集まったからこそ色々な場合を想定した計画ができたと感じています。

今後は医療経営士と介護経営士の双方の学習で得た知識を活かし、医療・介護の架け橋となれるよう、自己研鑽を重ねたいと思います。



## 介護分野に精通した会計士を目指す

**亀岡 慎平** ●かめおか・しんぺい 亀岡公認会計士事務所 代表  
会計士 介護福祉経営士2級

会計士として、一般企業の会計監査や、上場企業の決算の支援などを行っています。

介護福祉経営士の取得を考えたのは、社会福祉法人の会計監査にかかわったことがきっかけです。

それまで仕事上で社会福祉法人とかわる機会はなかったのですが、会計監査でかかわったことで、今後の自分の活動領域に社会福祉のフィールドを加えていきたいと感じました。

特に介護の内容に触れることは全く初めての経験でしたので、資格を取得するにあたっての勉強は、非常に苦戦しました。

勉強の内容以前に単語の意味すらわからない場合もあり、そういった単語を一から調べることはとても大変でした。

しかし、そういった単語について意味を調べるだけでなく、動画サイトなどで単語にかかわる動画を見ることを繰り返した結果、介護に関する具体的なイメージを身に着けることができたのは大変ためになる経験だったと思います。

また、勉強を続けていくことで、これまで知らなかった介護の仕事の大きさや、すごさというものを感ずることができた点が一番大きな収穫だったと思います。

数年前に行われた法改正により、一定規模の社会福祉法人には会計監査の義務付けが行われましたが、今後私が介護にかかわっていくのは、こうした監査での場面が主になってくると思います。

ただ、一口に監査と言っても、帳簿を眺めているだけでは

監査をしているとは言えません。

決算書を確認する過程で発見した組織上の改善点を提案したり、適切な会計処理が行われるように助言したりといった、コンサルティング的な側面も仕事の内容として含まれます。

一般的に監査と言えば第三者的な目線でチェックをして終わりといったイメージがあるかもしれませんが、実は監査先の企業や団体のより良い組織づくりを支援するという役割も重要なのです。

そのため、会計士には監査先のビジネス内容をしっかりと把握していることが求められるのです。

しかし、現状では介護のことに詳しい会計士はあまり数が多くありません。義務だからと監査のために会計士を連れてきてもその会計士が介護について何もわからなければ、結果として負担がかかるのは介護現場です。

今後は介護福祉経営士として、介護の業界についての知識をしっかりと持って、適切な監査のできる会計士として活動していきたいと考えています。

元々介護の分野にかかわりがある状況から介護福祉経営士になった方々に比べて、畑違いの分野から参入してきた私はまだまだ学ぶべきことが多いと感じています。今後はそういった先輩の介護福祉経営士の方々からも学びの機会をいただきつつ、私自身の会計の能力を生かせる場を模索していきたいと思っています。

## 介護福祉経営士テキストのご案内

介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

「介護福祉経営士2級資格認定試験対策 — 合格サポートブック —」がもらえる!!

いまなら

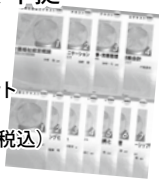
「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
  - 予想問題を掲載
  - 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。
- ※解説は(株)日本医療企画によるものです。

介護福祉経営士テキストのご案内

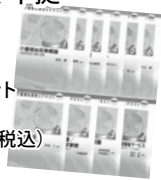
介護福祉経営士  
1級試験 準拠

実践編  
全11巻セット  
特別価格:  
26,190円(税込)



介護福祉経営士  
2級試験 準拠

基礎編  
全10巻セット  
特別価格:  
24,100円(税込)



※株式会社日本医療企画へ直接お申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ  
▶<http://www.jmp.co.jp/>

Webライブ中継

# 介護福祉経営士 全国会議2021

—ポストコロナ時代の高齢者ケアと介護福祉経営

開催  
決定

全国の介護福祉経営士が事業経営の悩みを解決します!

2021 **11/16** (火)  
14:00~16:00

会場 オンライン(Webライブ中継)による開催  
※アーカイブ有

参加費 会員2,000円(一般3,000円)



【主催】一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

ぜひご応募ください!

第6回

## 「介護福祉の未来」作文コンクール

一人ひとりの想いが、介護福祉の新たな未来を創ります。  
これからの社会を担うみなさんの声を届けてください。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生に介護や福祉の大切さを知り、未来について考える機会をもってもらうことを目的に、第6回「介護福祉の未来」作文コンクールを実施する。

昨年は、551編の作品が集まり、黒澤貞夫審査委員長(日本生活支援学会会長/浦和大学名誉教授)のもと厳正な審査が行われた。受賞者には、それぞれ賞状等が贈呈された。

入選作品は日本介護福祉経営人材教育協会ホームページ上で発表される。

ホームページにて応募方法や注意事項をよくご確認のうえ、ご応募ください。



© paylessimages - stock.adobe.com

趣 旨	将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。
募集期間	2021年6月1日(火)~9月6日(月) ※郵送の場合は必着
応募資格	中学生、高校生の方
テ ー マ	以下のテーマ(課題)の中から好きなもの一つを選んで、あなたが感じることを、考えることを自由に書いてください。 ●介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと ●自分の老後を想像して考えたこと ●これからの介護や福祉に関する私の意見

詳しい募集内容は一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会のホームページにてご案内します。



地域のニーズをすくい上げ  
地域から超高齢社会を支えていくための  
視点を具体的事例とともに掲載

# 介護ビジョン

今月の

## 第1特集

## 食が解決する介護の課題

介護現場において、食事には手間暇をかけられない、という職員サイドの意見もある一方で、利用者にとっては楽しみの一つでもあり、疎かにはできないものでもある。

本特集では、利用者のQOL向上や身体機能の向上のほか、職員の業務負担軽減など、「食が介入することで介護の課題解決につながる可能性」を探る。

**introduction** 「食事」がもつ可能性を各事業所が考える時が来た

**解説** 見るべきは利用者の気持ち 思い込みでの食事提供は行わない  
中村育子(名寄市立大学保健福祉学部栄養学科准教授)

### 事例1(利用者がつくる)

料理をすることが身体機能の改善だけでなく、家族のつながりをも改善する  
NPO法人シニアセラピー研究所

### 事例2(利用者がつくる)

料理特化型デイサービス  
なないるクッキングスタジオ自由が丘

### 事例3(食材からつくる)

筋力とコミュニケーション力が向上する「料理特化型リハビリ」  
デイサービス コミュニティケアセンター ライフタウンまび

### 事例4(調理法を開発)

“食べたい”という気持ちに向き合い、一人ひとりに合わせた介護食を開発  
医療法人、社会福祉法人さわらび会 さわらびグループ

### 事例5(完調品の活用)

完調品の利用が、食事の質向上と職員の意識向上両方を叶える  
特別養護老人ホーム 太陽の家横濱羽沢

2021年9月号

(2021年  
8月20日発売)詳しくは  

- 毎月20日発行
- 定価: 1,320円(税込)
- 定期購読料: 15,840円(税込)
- ※ 会員価格は12,672円(税込)

## 第2特集

## 平石体制2期目突入! 全国老協協の今を探る

## KFK INFORMATION

### 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴う試験の実施状況について

「介護福祉経営士」資格認定試験は試験サービスの提供先であるJ-Testingと連携し、会場において下記の感染防止措置を取ったうえで実施しております。

- ・会場の受付担当者、試験監督者のマスク着用徹底
  - ・受験に使用する机、PC等の清掃・除菌の徹底
  - ・定期的な換気の実施
- また、受験にあたってはマスクの着用が必須となります。

なお、体調不良の場合や職場やご家族で感染またはその疑いが出た場合など、新型コロナウイルス(COVID-19)に関する影響で受験ができない方は、試験日程変更期間(試験日の3営業日前まで)を過ぎた場合でも、可能な限り早い段階でJ-Testingヘルプデスクまでご連絡ください。

J-Testing お問い合わせページ▶ <http://j-testing.jp/cbt/contact.html>

### 「介護福祉経営士」 資格認定試験のご案内

### 全国200会場で、受けたい日時に受験が可能 その場で合否が判定されます!

「介護福祉経営士」資格認定試験は、CBT方式で実施しています。

試験会場は全国約200会場から選ぶことができ、自分の予定に合った日程、時間に受験することができます。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすく役に立つ教育システムとして進化しています。

受験方法や受験申込については、本会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にてご確認ください。

#### CBT方式とは…

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日※)受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。【ご注意】新型コロナウイルス感染症の影響により、使用できる会場に制限が生じる場合があります。

### 九州支部

#### ひまわり先生の交流分析学を用いた 医療者のためのコミュニケーション実践講座

【第1回】2021年8月22日 **開催終了** タイプ別の見分け方

【第2回】2021年9月19日(日) 「好みとストレス反応」

【第3回】2021年10月17日(日) 「タイプ別の接し方」

■時間：13:00～16:00

■講師：米倉けいこ氏(株式会社メンタルサポート研究所)

■開催方法：Zoomライブ配信

■参加要件：(1)顔画像ON (2)グループワークあり

■受講料：(1)協会会員：1日のみ4,000円、3回通し10,000円  
(2)一般：1日のみ5,000円、3回通し13,000円 ※税込

▼お申し込みは  
こちら



お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会  
九州支部  
(株式会社日本医療企画 九州支社 内)  
TEL:092-418-2828

### 共催：株式会社日本医療企画、株式会社張福祉コンサルティング

#### グローバル福祉コーディネーター張さんと巡るアジア福祉紀行 海外福祉事業を学ぶオンライン視察ツアー

第4回ツアー

「フィリピン人にとっての“介護”とは何か」

フィリピン人介護士が日本を目指す理由について

フィリピンとゆかりが深い社会福祉士が現地の高齢者施設と介護人材訓練校を案内。新たな視点でフィリピンと日本の介護を俯瞰し、ワークショップを通して日本が向かうべきグローバル介護の必要性について考える。

■日時：2021年9月10日(金) 19:00～21:00

■ガイド：福井淳一氏(社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士/  
2011年に渡比。外国人介護人材育成事業を行う)

■コーディネーター：張悦氏(株式会社張福祉コンサルティング 代表取締役)

■開催方法：オンライン開催

■参加費：(1)介護福祉経営士・ワールドケアカフェ会員：2,000円

(2)一般：3,000円

(3)学生：1,000円

■後援：日本介護福祉経営人材教育協会 東海支部

▼お申し込みは  
こちら



お問い合わせ

株式会社日本医療企画 中部支社  
TEL:052-209-5451

### 株式会社日本医療企画

#### 高齢者住宅セミナー2021

#### 科学的介護情報システム[LIFE]実践セミナー アウトカムを見据えた介護事業経営強化へ

講演

科学的介護情報システム[LIFE]を極める

エビデンスに基づく

自立支援・重度化防止等の時代に適応する

■演者：大藪直史氏(日本クラス税理士法人 介護経営コンサルタント)

事例紹介

高齢者施設・福祉施設の建築事例紹介 ～長期安定経営の実例をご紹介します～

■演者：パナソニック ホームズ株式会社

■日時：2021年9月26日(日) 13:30～16:30

■開催方法：会場およびオンライン(Zoomによるライブ配信)

■会場：メルパルク長野3階「飛翔」(長野県長野市鶴賀 高畑752-8)

■参加費：無料

■定員：会場20名、オンライン100名

■共催：パナソニック ホームズ株式会社 / パナソニック ホームズ信州株式会社

■協力：一般社団法人日本医療経営実践協会

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

▼お申し込みは  
こちら



お問い合わせ

株式会社日本医療企画  
高齢者住宅セミナー担当  
TEL:03-3553-2885

### 一般社団法人日本医療経営実践協会

#### 第10回 全国医療経営士実践研究大会・WEB大会

#### 医療経営士が挑む「ポストコロナ時代の医療改革」

#### ——今こそ英知を結集し、マネジメントを進化させよう!

■会期：2021年11月1日(月)～30日(火)

■開催方法：WEB配信(ライブ配信および録画配信)

■参加費：(1)協会会員：3,000円 (2)一般：5,000円 ※税込

■プログラム

●基調対談 ポストコロナ時代の医療改革(録画30分)

●トークセッション 座談会 医療の新潮流と進化するマネジメント

——改革の起爆剤はDX人材?—— どうなる? 患者本位の医療(録画60分)

●スペシャルトークセッション 医療経営士 思考塾

医療経営に関する悩みを参加者全員で考えよう!

(ライブ60分 / 11月11日(木) 15:00～16:00 ※アーカイブ配信あり)

●医療経営士 演題発表

(テーマ：ポストコロナ時代の医療経営)(録画各15分)

▼お申し込みは  
こちら



お問い合わせ

一般社団法人日本医療経営実践協会  
TEL:03-3553-2906  
(平日10:00～18:00)



## 介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会では、「介護福祉経営士」資格や認定試験に関するWEB上での説明会を行っています。

これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法などさまざまな情報を距離・場所の制約なく入手していただける機会となりますので、ぜひご利用ください。

お申し込みは当協会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/demae.html>)より承っております。

